

PBPM を用いた抗 VEGF 関連薬投与患者における D-ダイマー追加検査の有用性に関する後方視的研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

抗がん剤の一種である抗 VEGF 関連薬には、深部静脈血栓症や肺塞栓症など血栓塞栓症の副作用リスクがあることが知られています。当院では日本病院薬剤師会が提唱する“プロトコールに基づく薬物治療(PBPM)”の枠組みを用いて、薬剤師が血栓形成の指標である D-ダイマー検査実施を管理し、副作用の早期発見につなげる取り組みを行っています。

そこで本研究では、過去の記録から薬剤師の取り組みが実際にどの程度副作用の早期発見に寄与しているかを調べます。診療を通じて記録された情報のみを使用します。

研究の対象となる方

2024年8月1日～2026年1月31日の期間に当院で PBPM により D-ダイマー追加検査が実施された方

使用する試料・情報

年齢、性別、がん種、既往歴、抗 VEGF 関連薬の種類、D-ダイマー測定値（初回値・推移）、下肢エコー検査の実施有無および結果、併用薬（抗凝固薬、抗血小板薬など）、血栓塞栓症の発症状況など
情報利用開始日：2026年3月4日

研究予定期間

2026年3月4日～2027年12月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 薬剤部 守田和憲
[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 薬剤部 守田和憲
住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)